

「後期高齢者医療歯科健康診査」について

後期高齢者医療制度に加入されている方が「後期高齢者医療歯科健康診査」を受けることができるのをご存知ですか

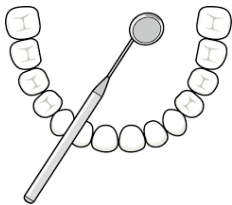
後期高齢者医療制度とは

高齢者の医療を国民全体で支え、
高齢者が将来にわたって安心して
医療を受けられるようにするための
制度です



対象者となる方

75歳以上の方及び65歳から74歳
の方で、申請により大阪府後期高
齢者医療広域連合が一定の障がい
があると認めた方



高齢になると飲み込む力が低下したり、歯や歯茎の状態により食べにくくなったりすることが原因で食べる量が減り、気づかぬうちに低栄養状態になるおそれがあります。また、口腔内の衛生状況が、全身の健康に大きくかかわっていることがわかってきました。

まだ診査を受けたことのない方はこれを機会に歯科医院へ行ってみませんか。

どんな検査をするの？

- ・ 歯の状態（う蝕、義歯の状況等）
- ・ 口腔衛生状況（視診）
- ・ 歯周組織の状況 等
- ・ 咀嚼能力評価（問診、実測評価）
- ・ 舌機能評価（実測評価）
- ・ 嚥下機能評価（問診、実測評価）



★ 受診希望者は、後期高齢者医療歯科健康診査実施協力医療機関に直接申し込み、被保険者証を提示することで、年度内に1回のみ受診できます。

★ 無料で受診できます。

※ただし、所定の健康診査項目以上の検査や治療を受けた場合、別途費用が必要となります。

引用：大阪府後期高齢者医療広域連合 HP ・ 厚生労働省「後期高齢者医療広域連合における歯科健診等について」



「歯科検診へ行こう」の巻

『52.9%』これは過去1年間に歯科検診を受けた20歳以上の人の割合です。厚生労働省が2016年に行った国民健康・栄養調査で明らかになりました。歯科検診には自治体などが実施している歯周病検診や歯科医院が呼びかける定期検診などがあり年齢別では20代が43.3%、30代が44.6%、40代が49.4%、50代が52.4%、60代が58.1%、70歳以上が57.9%で、年齢層が高くなるにつれ割合も高くなっていますが国の目標『65%』にはどの世代も到達していないのが現状です。



お口と体の雑学クイズ

(1) 12歳児のむし歯が日本一少ない県は？

- A. 新潟県 B. 和歌山県 C. 大分県

(2) 日本初の子ども用歯みがき粉についていた付録は？

- A. おりがみ B. 絵本 C. シール

(3) 次の永久歯のうち、いちばん寿命が短いのは？

- A. 前歯 B. 犬歯 C. 奥歯

※答え (1)A (2)B (3)C